

第21回東海外来小児科学研究会

謹啓 時下、先生におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、この度下記の要領にて第21回東海外来小児科学研究会を開催します。インフルエンザワクチン接種などで、ご多忙中とは存じますが、是非ともご出席賜りますようご案内申し上げます。

例年通り後期研究会は Workshop 形式での開催となります。

今回は下記の3つのテーマで Workshop になりました。時に遭遇する症例に対するスキル・アップや知見を深めるために、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

ご多忙中とは存じますが万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

【Workshop のテーマ】

- WS-1 「熱傷に対する湿潤療法のノウハウを共有しよう」
- WS-2 「自閉症スペクトラム障害をもつ子どもの家族に対応するためのスキルを学びませんか」
- WS-3 「開業医にも出来るNICU卒業児の在宅医療」

—まずは何が出来るか一緒に考えてみましょう—

謹白

日時：平成23年11月6日（日）13:30～17:00

会場：愛知県産業労働センター「ウィンクあいち」

小会議室 1206・1207・1208

<http://www.winc-aichi.jp/>

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

TEL: 052-571-6131（受付 9:00～20:00）FAX: 052-571-6132



【Workshop に関してのご案内】

1. 当日、参加費2000円を徴収致します。
2. 当日の受付開始は13:00からです。Workshopの時間は13:30～17:00となります。
3. 原則として当日参加は可能ですが、会場の都合上、50名以上になった場合参加できないことがあります。資料準備などの都合もありますので、なるべく事前登録をお願いします。
4. 今回も総合討論はありません。次回研究会の案内はWorkshop終了後にリーダーから致します。
5. Workshopの一部には事前アンケートがあります。Workshopの議論を深めるため、資料となりますので、研究会・Workshop参加の有無にかかわらず、ご協力をお願い致します。

東海外来小児科学研究会世話人

愛知県	大西正純	北條泰男	鈴木研史	水野美穂子	千原 克
岐阜県（担当県）	矢嶋茂裕	若園明裕	中島俊彦	平野 量哉	
	(会長)			(事務局)	
三重県	落合 仁	稲持英樹	梅本正和	種田 寛	近藤 久

※ 日本小児科学専門医制度研修集会として5単位が取得できます。

※ 尚、会費といたしまして、2000円を受付で申し受けますのでご了承ください。

※ 誠に申し訳ございませんが本会におきましては旅費の負担ができませんことをご了承ください。

共催：東海外来小児科学研究会、MSD 株式会社

WS-1 抄録 「熱傷に対する湿潤療法のノウハウを共有しよう」

演者（リーダー）： 渡辺 正博（すすか こどもクリニック）
サブリーダー： 矢嶋茂裕（矢嶋小児科小児循環器クリニック）
宮谷 真正（宮谷クリニック）

創傷や熱傷などに対し、従来のガーゼと消毒薬での治療を否定し、「消毒をしない」「乾かさない」「水道水でよく洗う」を三原則とした湿潤療法が2001年ごろから形成外科医である夏井睦先生によって提唱されメディアでも取り上げられることが多くなり広く一般に知られるようになりました。今年の日本外来小児科学会ワークショップのテーマにも取り上げられたように小児科医で積極的に取り組む人も増えてきています。しかし、医療界全体においてはまだ消毒の呪縛から逃れられない医師も多く、普及しているとは言えません。中には理屈はわかっているが経験が少ないため踏みきれない方も多いと思います。湿潤療法の講演や本で熱傷/創傷が治癒していく過程のスライドを見せられても知りたいのはスライドとスライドの間のことです。そこで、このワークショップでは実際に創傷被覆材を使って処置のやり方を話し合ってみようと思います。毎日、熱傷患者を診ているような小児科医はいません。お互い少ない経験の中でノウハウを共有できればと考えています。経験のない方でも湿潤療法をやってみたい方は是非参加して下さい。（注：材料費がかかるため参加費を徴収する場合があります）

WS-2 抄録「自閉症スペクトラム障害をもつ子どもの家族に対応するためのスキルを学びませんか」

演者（リーダー）： 平野 量哉（那加こども医院）
サブリーダー： 梅本正和（うめもとこどもクリニック）
アドバイザー： 柿元真知（長尾こころのクリニック）
インストラクター： 川上ちひろ（NPO法人アスペ・エルデの会ディレクター、岐阜大学MEDC助教）

自閉症スペクトラム障害（ASD）の子供たちは、共同注視の遅れを伴い、健全な愛着形成も小学校高学年以降にずれることがわかっている。愛着形成の遅滞や社会適応能力の乏しい ASD の子供たちは、両親を含めた周りの人々から虐待を受ける危険が高く、その結果 2 次的障害に陥ることもある。言語発達がよい ASD の子供を、1 歳半健診で発見することが難しい現状では、愛着形成の促進について議論することは難しい。一方、社会への適応能力を促す方法は、ソーシャルスキルトレーニングとして実践され成果をあげている。今回、東海外来小児科研究会として、東海 3 県を中心にソーシャルスキルトレーニングの活動も行っている「アスペ・エルデの会」のノウハウを学ぶ機会を得ました。WS の世話役の我々は、「アスペ・エルデの会」の ASD の子供たちへのワークブックを見て、外来で出会う ASD らしきお子さんやそのご家族への対応について、新たな発見がありました。かかりつけ医あるいは園医・校医として、出会う ASD の子供たちに対する理解や問題点を議論し、川上先生の「異性との距離感は、どれくらいとったらいのか[わからない子どもたち]への教育」について教えていただくとともに、「アスペ・エルデの会」のノウハウ知っていただけたらと思います。ASD の子供たち独特の感覚過敏やこだわりへの理解も深まります。参加者同士の交流に皆さん、きてみませんか。

WS-3 抄録 「開業医にも出来るNICU卒業児の在宅医療」 — まずは何が出来るか一緒に考えてみましょう—

演者（リーダー）： 大西正純（おおにしこどもクリニック）
サブリーダー： 若園明裕（若園医院）
千原 克（ちはら小児科）

医療技術の進歩に伴い、以前なら不幸な転機をとっていた子どもが数多く救命されるようになって来ました。このこと自体は大変喜ばしいことですが、残念ながら救命はされたものの大きな障害が残ってしまい病棟から退院できない子どもの数も確実に増加してきています。内科では、数年前から徐々に在宅医療に対する取り組みが進み、人工呼吸器を装着したような重症な方でも、自宅で治療を続けることが出来るようになってきました。しかしながら小児科領域での在宅医療はまだ始まったばかりで確立してはいません。今後子ども達のQOLを向上し家族への負担を軽減するために、地域の小児科医と基幹病院、家族が連携をとることが求められていますが、私達一般の開業小児科医は往診の経験が少なく、実際に往診するには高いハードルが存在しています。一方、重症な障害児の7割近くがNICU卒業児であると言われていています。そこで、今回は小児在宅医療の入門編として、NICU卒業児を中心とした小児在宅医療について一緒に勉強していきたいと思ひます。

WS-1 「熱傷に対する湿潤療法のノウハウを共有しよう」のアンケート

(WSに興味や参加の有無にかかわらずご回答 FAX をお願いします)

Q1. 年齢は? () 歳代

Q2. 湿潤療法を聞いたことがありますか。

1. はい →Q2へ 2. いいえ →アンケート終了です。

Q3. 湿潤療法に関心はありますか。

1. はい →Q3へ 2. いいえ →アンケート終了です。

Q4. 湿潤療法を行ったことがありますか。

1. はい →Q4へ 2. いいえ →アンケート終了です。

Q5. 湿潤療法を行った疾患は何ですか。(複数チェック可)

1. 創傷 2. 熱傷 3. 低温熱傷 4. とびひ 5. 湿疹 (ADを含む)
6. その他 ()

Q6. 使用したことのある被覆材にどれですか。(複数チェック可)

I ハイドロコロイド ドレッシング

デュオアクティブ® デュオアクティブ®CGF デュオアクティブ®ET
レプリケア® レプリケア®ライト テガダーム™ ハイドロコロイド
アブソケア®

II アルギン酸塩 ドレッシング

カルトスタット® ソープサン® アルゴダーム® クラビオ®FG

III その他の分類 ドレッシング

アクアセル® ハイドロサイト® ティエール® グラニュゲル®
ポリウレタンフィルム

(テガダーム、オプサイトウンド、バイオクルーシブなど、無滅菌のロール品も含む)

IV 市販品

プラスモイスト プラスモイスト TOP
市販のハイドロコロイド剤 (バンドエイドキズパワーパッドなど)
食品用ラップ

V 上記以外で使用したことがあるものをお書き下さい。(軟膏類は除きます)

Q7. このワークショップに参加しますか。

1. はい 2. いいえ 3. 検討中

Q8. ご意見ご要望があればお書き下さい。

お名前:

所属

電話番号:

FAX:

E-Mail:

(WSに参加されない方はお名前や連絡先を記載しなくてもかまいません)

返信先

FAX 059-380-1801 (すずか こどもクリニック)

WS-2 「自閉症スペクトラム障害をもつ子どもの家族に
対応するためのスキルを学びませんか」 のアンケート

1、自閉症スペクトラム障害をもつ子ども・ご家族で困ったことを、ご記入ください。

例：自閉症の子の予防接種のときの対応：中学校 1 年生で 体重が 90k g 2 期MRワクチンを接種で来院
診察はさせてくれたが、腕を酒精綿で拭いたときから暴れだし、逃げ回った。母親は協力的であったが、と
にかく本人が大きくて 医師と看護師と母親では制止できなかった。こんな時はどんな対処してますか？

•

•

•

2、WS で議論してほしいことを、ご記入ください。

例：乳幼児から診ていた子供が、幼稚園に入園し、幼稚園から自閉でないか？と言われ、専門と言われる先
生に診てもらったが、専門と言われる先生方の意見が異なり、それって???

•

•

•

お名前： 所属

電話番号： FAX： E-Mail:

WS2 「自閉症スペクトラム障害をもつ子どもの家族に対応するためのスキルを学びませんか」
の Workshop に

参加 ・ 不参加

返信先

FAX 058-389-0513 (那加こども医院)

WS-3

「開業医にも出来るNICU卒業児の在宅医療」

—まずは何が出来るか一緒に考えてみましょう—

に対する

参加申し込み書

WS-3に 参加を希望します。

お名前：

所属

電話番号：

FAX：

E-Mail:

返信先

FAX 0533-83-0339 (おおにしこどもクリニック)